

### 1. 太平洋側のマイワシについて

○道東まき網：8月は3日まで操業したあと船団が一旦南下したため27日まで操業がなかった。8月上旬は高水温の影響で魚群が北方四島水域に北上したため、1日300トン前後の水揚げにとどまった。27日以降は親潮系水の張り出しとともに魚群が南下し、操業隻数も増加して、1日1000～2000トン前後を水揚げした。しかし魚群はまとまっておらず、平均の1網当たり水揚げ量は133.5トンであった。漁場は釧路～花咲沖に形成され、下旬には十勝沖にも形成された。漁獲物は体長16～17cm主体で、18～20cm以上の混じりは少なかった。8月の釧路港への水揚げ量は7月及び前年を下回り、価格も7月及び前年を下回った(表1)。

表 1. 釧路港におけるマイワシの水揚げ量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年    |      | 2021年    |      | 前年比 |     |
|----|----------|------|----------|------|-----|-----|
|    | 数量       | 価格   | 数量       | 価格   | 数量  | 価格  |
| 7月 | 37,648.9 | 27.0 | 45,600.1 | 30.0 | 1.2 | 1.1 |
| 8月 | 15,859.4 | 31.0 | 5,509.8  | 29.0 | 0.3 | 0.9 |

(出典:おさかなひろば)

○道東沖棒受網：道東沖棒受網による花咲港への水揚げ量は7月及び前年を下回った(表2)。1日当たり水揚げ量は8月上旬には20～60トンで、中旬には100トンに増加したが、下旬には20～50トンに減少した。サイズは体長16.5～17.5cm、体重60g主体(2～3歳魚)であった(図1、2)。体重80g前後の混じりは5～10%であり、90g以上の混じりは少なかった。

表 2. 花咲港におけるマイワシの水揚げ量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年   |      | 2021年   |      | 前年比 |     |
|----|---------|------|---------|------|-----|-----|
|    | 数量      | 価格   | 数量      | 価格   | 数量  | 価格  |
| 7月 | 1,688.7 | 61.0 | 2,253.5 | 28.0 | 1.3 | 0.5 |
| 8月 | 1,532.3 | 39.0 | 1,028.4 | 37.0 | 0.7 | 0.9 |

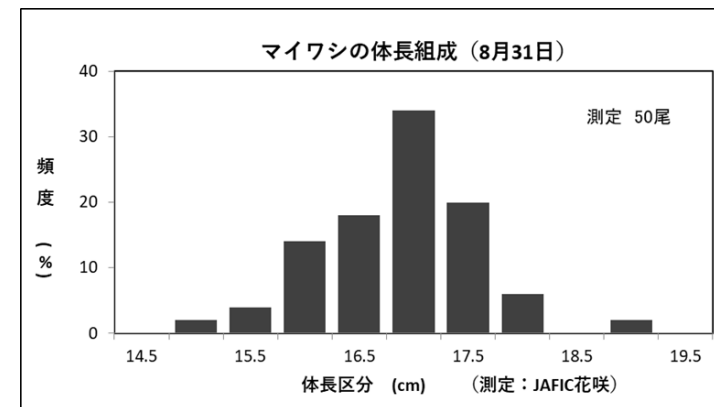


図 1. 8月31日花咲港水揚げのマイワシ体長組成

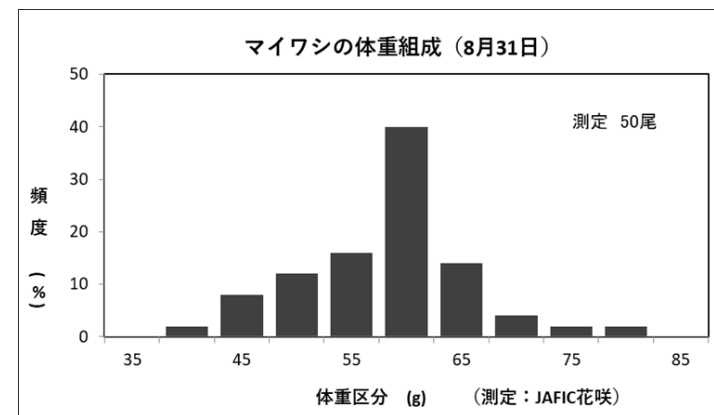


図 2. 8月31日花咲水揚げのマイワシ体重組成

### 2. 日本海側のマイワシについて

○境港：8月の水揚げ量は7月及び、前年を上回った(表3)。漁獲物の主体は体長10cm、体重10gにモードを持つ0歳魚であった(図3、4)。0歳魚の水揚げは7月下旬に始まり、8月も継続しており、体長10cmのサイズは加工原料や養殖餌向けに出荷されている。

表 3. 境港におけるマイワシの水揚げ量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年   |      | 2021年   |      | 前年比 |     |
|----|---------|------|---------|------|-----|-----|
|    | 数量      | 価格   | 数量      | 価格   | 数量  | 価格  |
| 7月 | 2,679.0 | 62.0 | 5,881.0 | 43.0 | 2.2 | 0.7 |
| 8月 | 278.0   | 66.0 | 1,052.0 | 48.0 | 3.8 | 0.7 |

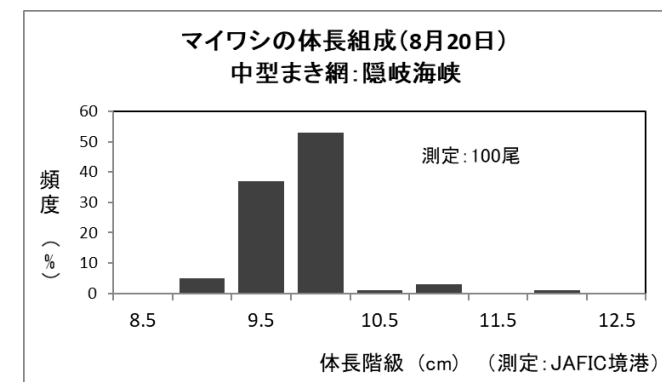


図 3. 8月20日境港水揚げのマイワシ体長組成

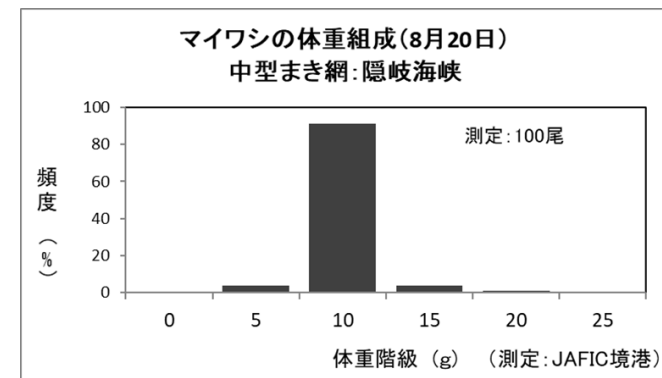


図 4. 8月20日境港水揚げのマイワシ体重組成

3. 日本海および東シナ海側のマサバについて

○松浦港： 8 月は九州西沖海域主体に操業が行われ、水揚量は 7 月を下回ったものの、前年を上回った(表 4)。松浦港のマサバ水揚量は 7、8 月とも前年を上回っており、比較的好調な漁況が続いている。1 隻当たり漁獲量も過去 5 年平均を上回っており、秋以降も好調な水揚げが期待される。遠洋旋網による長崎港水揚分は、体長(尾叉長)27～28cm 前後、体重 240～280g 前後の 0～1 歳魚が主体であった(図 5、6)。

表 4. 松浦港におけるマサバの水揚量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年 |       | 2021年   |       | 前年比 |     |
|----|-------|-------|---------|-------|-----|-----|
|    | 数量    | 価格    | 数量      | 価格    | 数量  | 価格  |
| 7月 | 279.6 | 146.0 | 1,604.9 | 113.0 | 5.7 | 0.8 |
| 8月 | 318.6 | 155.0 | 831.0   | 112.0 | 2.6 | 0.7 |

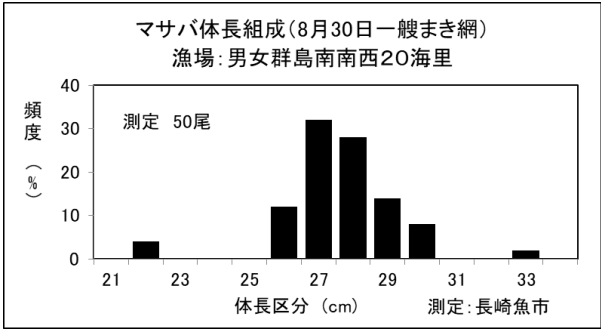


図 5. 8 月 30 日長崎港水揚のマサバ体長組成

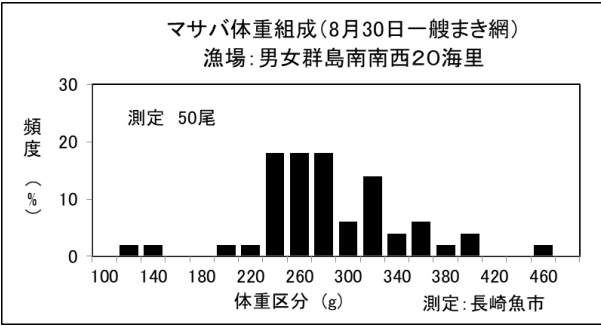


図 6. 8 月 30 日長崎港水揚のマサバ体重組成

4. 日本海および東シナ海側のマアジについて

○浜田港： 8 月の水揚量は 7 月を下回ったものの、前年を上回った(表 5)。漁場は 7 月に引き続き浜田～山口県沖で、中小型まき網による水揚げが主体であった。漁獲物は、体長 18～19cm 前後、体重 80g 前後の 1 歳魚で、鮮魚向けの出荷が続き、価格は 7 月を上回った。

表 5. 浜田港におけるマアジの水揚量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年 |       | 2021年 |       | 前年比 |     |
|----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
|    | 数量    | 価格    | 数量    | 価格    | 数量  | 価格  |
| 7月 | 574.4 | 322.0 | 588.9 | 301.0 | 1.0 | 0.9 |
| 8月 | 287.3 | 358.0 | 413.1 | 339.0 | 1.4 | 0.9 |

○松浦港： 遠洋旋網主体の水揚げがあったが、8 月の水揚量は 7 月及び前年を下回った(表 6)。漁場は主に九州西沖海域であった。遠洋旋網による長崎港水揚分は体長 22cm 主体、体重 160g 主体の 1 歳魚で(図 7、8)、これまであまり水揚げされなかった 1 歳魚が多くなったことが特徴であった。また、7 月に続き、長崎港の水揚物は浜田港の水揚物よりも大型であり、漁場が異なっていると考えられる。

表 6. 松浦港におけるマアジの水揚量(トン)と平均価格(円/kg)

|    | 2020年   |       | 2021年   |       | 前年比 |     |
|----|---------|-------|---------|-------|-----|-----|
|    | 数量      | 価格    | 数量      | 価格    | 数量  | 価格  |
| 7月 | 937.3   | 322.0 | 1,611.0 | 236.0 | 1.7 | 0.7 |
| 8月 | 1,186.8 | 224.0 | 459.1   | 283.0 | 0.4 | 1.3 |

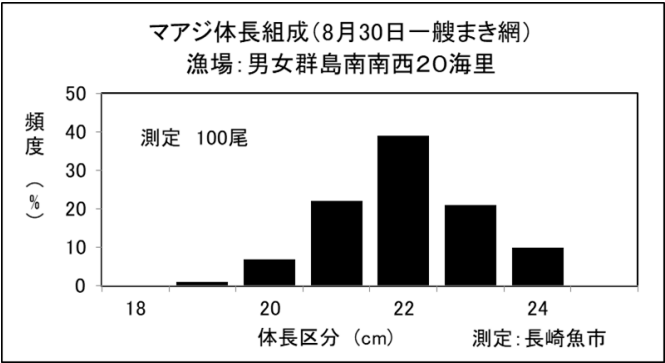


図 7. 8 月 30 日松浦港水揚のマアジ体長組成

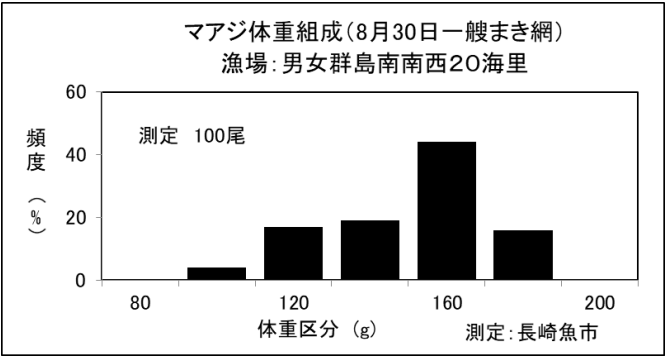


図 8. 8 月 30 日松浦港水揚のマアジ体重組成

5. まとめ

8 月の太平洋側のマイワシは、道東海域のまき網と棒受網による水揚量が主体で、北部まき網や石巻定置網による水揚量はごくわずかであった。8 月の道東海域の海況は、上旬は 7 月からの高水温が続いたが、中旬は台風や低気圧の通過により、海面水温が低下し、下旬以降は親潮系の冷水により沿岸から沖合まで水温が低下するなど変化が激しかった。これが、道東海域と北方四島水域の間での魚群の北上、南下や道東海域における分布の粗密に影響を及ぼし、まき網や棒受網の漁況の変化をもたらしたと考えられる。

日本海側のマイワシについては、隠岐海峡周辺での 0 歳魚対象の操業が続いた。前年に引き続き、この海域が未成魚の

良好な生育場になっていることが考えられる。山陰まき網では隠岐海峡周辺で操業する中型まき網によるマイワシの水揚げが続いている。10 月までは好漁であった前年並みか、それを上回る水揚量が期待される。

東シナ海のマサバについては、九州西沖海域を中心に 9 月以降も 0～1 歳魚主体の漁獲が続くと考えられる。2020 年級群の資源量は 2019 年級群を上回ると予測されており、冬の 1 歳魚の好漁に期待したい。

マアジについては、日本海側ではマアジは浜田～山口県沖を中心に大型と中型まき網により、鮮魚として出荷される「カボ」銘柄(尾叉長 18～19cm 前後)主体の漁獲が続いている。東シナ海では九州西沖海域主体の操業であるが、これまで水揚げされなかった 1 歳魚が多くなっている。9 月以降は体長 22～25cm(1 歳魚)主体に 20cm 以下(0 歳魚)や 25～27cm(2 歳魚)のサイズも混じると考えられる。

**(水産情報部)**